

平成24年第5回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	18番	川崎明夫 (30分)	<p>1. 並木市長の来期の市政担当への決意を伺う (1)並木市長の来期の市政担当への決意を伺う。</p>	12月4日
2人目	12番	石居尚郎 (60分)	<p>1. 財政の見える化を促進 — 新公会計制度等について — (1)これまで新公会計制度にどのように取り組んできたか。 (2)東京都が開催している東京都会計制度改革研究会について、その内容と所感は。 (3)総務省方式と東京都方式を比較して、その違い、短所と長所などをどのように認識しているか。 (4)今後、財政の見える化に向けて新公会計制度も含めてどう推進していくのか。 (5)市民により解りやすい財政報告を。</p> <p>2. 幼児教育、子育て環境の推進を — 子育て3法の改正より — (1)羽村市で「子ども子育て会議」を設置する考えは。 (2)来年度予算においてニーズ調査のための予算を計上する必要があると考えるか。 (3)利用者の側に立った支援サービスを推進していく上で、市としてどのような施策が必要と認識しているか。</p> <p>3. 動物愛護、動物との共生社会について (1)動物愛護、動物との共生社会へ向けての市の認識は。 (2)犬猫殺処分の現状と減らすための対策をどう図っているか。 (3)市としてボランティアの支援をどのように考えているか。 (4)猫の避妊・去勢手術の助成制度を設置する考えは。 (5)動物愛護基金条例の制定を提案する。</p>	12月4日
3人目	6番	大塚あかね (60分)	<p>1. 成年後見制度の円滑な活用を目指して (1)老人福祉法第32条の2（平成24年4月1日施行）に対し、具体的にどのように進めていく考えか。 (2)身寄りがいない等の理由で申立て人がいない方の「区市町村長申立て」は本市では活用されていないが、今後の見込みと対応について伺う。 (3)任意後見制度についての取り組みについて ①本人の将来が不安な方や、障がいを持つお子さんを抱える保護者は勿論、市民に対して任意後見人制度に対する更なる理解を深める取り組みが必要ではないか。</p>	12月4日

4 人目

3 番

中 嶋 勝
(60 分)

- ②「見守り契約」についての周知はされているか。
- ③「任意代理契約」についての周知はされているか。
- ④「遺言」と成年後見制度についての周知はされているか。

(4) 後見制度支援信託の周知をさらに十分に行ってはいかがか。

(5) 東京都が進める「成年後見活用あんしん生活創造事業」に対する市の見解を伺う。

2. 「イクメン」「イクジイ」に更なるエールを送ろう

(1) 「羽村市男女共同参画基本計画」では市役所男性職員の育児休業取得率の目標指数は平成 28 年度までに 10%とされているが、どのように達成していく考えか。

(2) 男性が積極的に子育てに関わることができる環境づくりをどのように図っていく考えか。

(3) 海外での男性が子育てに積極的に参加している状況を学び、男性の「子育て参加」の促進を図る意味から、国際交流を行ってはいかがか。

(4) 「イクメン」「イクジイ」を応援するためにも子育てを楽しみ、家族を幸せにした男性を表彰するイベントを実施してはいかがか。

1. 羽村市の都市計画について

(1) 羽村市の都市の将来像をどう描き、どのような街にしていこうとしているのか伺う。

(2) 時代とともに産業構造の変化が起きている。それに対しての見解は。

① 工場の移転跡地、例えば準工業用地等にマンションが建つことに対して。

② 農地保全の観点から農地が転売され宅地になっていくことに対して。

③ 都市計画全体の中での大型店の進出に対してはどうか。

(3) それらを勘案し都市計画区域の見直しが必要ではないか。

① 市街化調整区域の今後の在り方を伺う。

② 用途地域の市内全体の見直しをしてはどうか。

③ 地区計画の見直しや増設は。

(4) 羽村市宅地開発等指導要綱についても適時見直しが必要と思うがいかがか。

(5) 来年度、都市計画基礎調査の予定だが具体的な内容を伺う。

(6) 市民から借り受け使用している土地等の今後の在り方をどう考えているか。

2. 24 時間訪問介護等、介護の充実について

(1) 介護や療養を中心とした施設への入所について伺う。

① 現在の施設入所者は何人か。

12 月 4 日

5 人目

10 番

小 宮 國 暉
(60 分)

- ②入所希望者で待機している方はどれくらいいるか。
- (2) 地域密着型サービス施設 (小規模) について伺う。
 - ①認知症対応型施設は足りているか。今後の動向は。
 - ②小規模多機能居宅介護施設の需要が高まっているが市の取り組みは。
 - ③民間賃貸住宅等の活用で入所促進を図れないか。
- (3) 居宅・在宅での介護サービスについて伺う。
 - ①市内に 24 時間訪問介護をサービスする事業所はあるか。
 - ②需要はどれくらいあると思われるか。また今後の需要をどう見ているか。
 - ③市として事業所に対し、24 時間訪問介護の導入を促進してはどうか。
- (4) 福祉用具購入費や住宅改修費の支払方法は対象者に負担が掛からない受領委任払いに統一できないか。
- (5) 今後も地域包括支援センターが重要な拠点となることを考え、具体的にどのような充実を図っていくのかを伺う。

1. 羽村市における大学との連携、取り組み強化に向けて

- (1) 羽村市では、平成 22 年 6 月に杏林大学と教育分野をはじめ、産業、環境、福祉等の各分野に渡る包括的な協定を締結しているが、各分野において、どのような連携事業が展開されているか。
- (2) これまでの羽村市と杏林大学の連携事業の展開によって、相互にどのような成果があったか。
- (3) 杏林大学からは、新たな提案として、どのようなものがあるか。
- (4) 羽村市における生涯学習を更に進展させていくため、杏林大学に対し、羽村市からは、どのような提案をしているか。
- (5) 文部科学省では、大学と地域の連携を通じ、学生に社会経験の機会をつくることで、人材育成、雇用創出につなげる施策を展開していく考えを示しているが、羽村市における具体的取り組み強化として、実行計画を策定していくべきと考えるが如何か。

2. 安心安全のまちづくりに向けて、狭あい道路の整備等の課題について

- (1) 狭あい道路に対する整備については、これまで一般質問や予算・決算の審議の中で狭あい道路整備方針に基づき対応すると聞いている。そこで現状の整備、進ちょく状況について伺う。
- ①羽村市の道路整備状況について、狭あい道路(幅員 4 メートル未満)は何メートル位あるのか。また、その分布状況は。

12 月 4 日

②狭あい道路整備方針は、どのようなプロセスで、また、どのような認識で、いつ作成し、どのように実行してきたのか。

③今後の整備の進め方について、平成 24 年度予算の中で、また、平成 25 年度予算編成においてどのように反映させる考えか。

(2) 宅地開発状況について

①過去 5 年間の宅地開発状況は何件くらいあるのか。そのうち青梅線以西地区における状況は。

②開発された道路の管理については、これまで羽村市では、公道から公道に接続していない道路は、帰属を受けていないと聞かすが、その理由は。

(3) 開発された場所が、狭あい道路に接している場所と、狭あい道路の奥（行き止まり）の場所に分けた場合の各件数は。またそれぞれの問題点、課題をどのようにとらえているか。

3. 子どもたちの心と体の生涯学習について

(1) 心の教育については、子どもたちの心を耕す道徳教育の充実や規範意識を育てる教育が求められている現状において、その具体的取り組みについて

①学校教育では心の問題をどのようにとらえ、どのような取り組みを進めているか。

②教育委員会では大人も含めた道徳心や規範意識の啓発についてどのように考え、どのような取り組みを進めようとしているか。

(2) 子どもたちの体力の低下が社会問題化している中、羽村市の学校でも様々な取り組みが行われている。子どもたちの体力の現状と、今後の具体的な計画と見通しについて

①羽村市内の小中学生の体力の現状をどのようにとらえているか。

②体力向上に向けて、教育委員会及び市内の学校ではどのような取り組みをしているか。

③羽村市では地域でも様々な体力向上につながる取り組みを行っているが、このような取り組みとどのように連携を図っているか。

6 人目

7 番

西 川 美佐保
(60 分)

1. 市の経営戦略について

(1) 次世代の産業育成について

①新産業への発展につながる今後の取り組みを、青梅線沿線クラスター協議会との連携、大学との連携なども含め、市の具体的仕掛けや方向性を伺う。

②市のフェイスブックの取り組みについて今後の方向性を伺う。

③今後大型店舗が入ってくる事で、市内商店への大きな影響が予測されるが、市としてどのように考えているのか。

12 月 5 日

7人目

8番

橋本弘山
(60分)

④市の財政負担のない、民間企業と連携した太陽光発電等の設置をしてはどうか。

(2) コスト削減について

①情報化システムについて、今後のシステム改修に、「クラウド化」を導入することで、費用の削減が図れると思うが、市の考えを伺う。また、「自治体クラウド」への導入を他自治体に働きかけてはどうか。

②コンビニでの証明書発行について、推進してはどうか。

③公共施設の民営化など、今後民間との連携を更に推進してはどうか。

(3) 増収を図る対策について

①未活用地、建物の売却や貸し付けなど、公有財産の有効利用を図ってはどうか。

②ごみの資源化を更に進め、小型電子機器（携帯電話、充電器も含む）の回収で、金、銀、レアメタルなど希少な金属などに変え、増収を図ってはどうか。

③陶器、ガラスの資源化、生ごみダイエットに取り組んではどうか。

2. 食育で病気予防の対策を

(1) 食育と病気の関係性について、市の認識を伺う。

(2) 学校での取り組みについて

①学校での食育の推進をモデル校として、これまでの取り組みと、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

②学校の食育等「生ごみを利用した元気野菜の取り組み」を推進してはどうか。

(3) 市民への食育で、病気予防の対策について

①その他の市民への食育の推進の現状について伺う。

②多くの病気に食事が重要なポイントとなっているが、病気予防の観点からの食育について、今後市の計画に入れて取り組んではどうか。

③市民への食育に「生ごみを利用した元気野菜の取り組み」を推進してはどうか。

(4) 事業所への食育への取り組みは、今後どのように推進しようと考えているのか。また夏まつり、産業祭、環境フェスティバルなどで反映できることはあるのか。

1. 大型商業施設進出に伴う影響と今後のまちづくりについて

(1) 大規模小売店舗立地法について

①その制定の目的は何か。

②対象となる面積はどのくらいか。

(2) 工場閉鎖後の取り壊しから大規模小売店舗出店手続きまでどのような過程と期間を経て決定されるのか。

12月5日

- (3) この施設の種類や規模、オープンの時期等は提示されているか。
- (4) 大型商業施設が出店する際の協議について
 - ① 羽村市の指導、協議は。
 - ② 東京都の指導、協議は。
- (5) 大型商業施設が進出した場合の影響について
 - ① 既存の商店街、小売店への影響は。
 - ② 進入路と関連する周辺道路への影響は。
 - ③ 地元町内会への影響は。
 - ④ 緑の喪失の懸念は。
- (6) 大型商業施設進出の効果についてはどう考えるか。
 - ① 市民への効果は。
 - ② 羽村市への効果は。
- (7) 大型商業施設出店過程で羽村市が要請すべき事項はどんなことが考えられるか。
- (8) 今後、このような大型商業施設の進出や、相続に絡む広大な農地や緑地、樹林地等の売却が予想されるが、羽村駅西口土地区画整理事業を含む羽村市の将来のまちづくりについての方向性は。

2. 成人式の意義について

- (1) 平成 25 年の新成人の数と羽村市民に占める割合は。
- (2) 昨年の都知事選挙、羽村市議会選挙における 20 歳代の選挙の投票率の状況は。
- (3) 過去 5 年間の成人式への参加率は。
- (4) 式典の企画・運営はどこが中心となっているのか。
- (5) 過去 5 年間で応募された新成人のスタッフの数は。
- (6) 来年の成人式開催に向け、現在どんな準備が進んでいるのか。
- (7) 社会参加、社会貢献の一步として以下の提案
 - ① 消防団員募集案内コーナーの設置
 - ② 献血車出動の要請、または献血への呼びかけのチラシの配布
 - ③ 国民年金加入の啓発
 - ④ 来年度に予定されている各選挙への投票の呼びかけ、立会人、選挙事務の募集コーナーの設置
- (8) 羽村市の成人式の今年までの状況をどのように評価しているか。
- (9) 今後の実施に際して改善すべき課題と、将来に向けて成人式はどのようなかたちが望ましいと考えるか。

3. ラジオ体操の普及について

- (1) 小、中学校で行われているラジオ体操の指導の現状はどうなっているのか。
- (2) ラジオ体操の意義、必要性についてどのように認識されているか。

8人目

4番

富永訓正
(60分)

(3)羽村市ではラジオ体操にどのような見解を持っているか。

1. 羽村市地域防災計画の見直しについて

- (1)新たな地域防災計画の「見直しの視点」をどのように見ているか。
- (2)自助・共助をそれぞれ補完する公助をどのように捉えているか。
- (3)自助・共助における防災・減災に対する市民の皆さまへの啓発と具体的な周知をどのように考えているか。
- (4)共助の部分での地域、各種団体、学校等の連携への取り組みの現状と今後を伺う。
- (5)小・中学生、高校生ボランティアの育成・充実をどう図っていくか。
- (6)市災害対策本部、地域、各種団体、学校での避難所運営訓練の実施を行うべきと考えるが如何か。
- (7)遠隔地の自治体との相互連携とあわせたホームページの代理掲載の取り組みの現状と今後を伺う。
- (8)災害時要援護者支援の取り組みの現状と今後を伺う。
- (9)市内企業に対してのBCP（事業継続計画）策定支援の取り組みの現状と今後を伺う。
- (10)災害時等職員参集訓練を実施したことはあるか。今後についてはどう考えているか。
- (11)「被災者支援システム」導入についての考えを伺う。

2. 公共施設等の効率的な活用と利便性の向上について

- (1)公共施設使用料について、市内外利用者の使用料金の適正化を図るべきと考えるが如何か。
- (2)公共施設等の使用率と利便性の向上のために、使用頻度の低い一般市民に未開放の施設の部屋等を開放すべきと考えるが如何か。
- (3)予約方法、予約システムについての現状と問題点等の課題を伺う。

3. これからの図書館について

- (1)Web図書館についてどのような認識か。
- (2)Web図書館の導入への考えは。
- (3)市内小中学校図書館とのネットワーク化への取り組みの現状と今後を伺う。
- (4)民間委託についてどのように考えているか。

12月5日

9人目

2番

富松崇
(50分)

1. 「観光振興でにぎわいのある街に」について

- (1)現在の状況について
 - ①年間を通してさまざまなイベントを行っていると思うが担当している部署は。

10 人目

13 番

濱 中 俊 男
(55 分)

- ②観光協会・産業課等の役割分担はどのようにされているのか。
 - ③各種イベントの情報発信、特に市外へはどのようにされているのか。
 - ④一年を通して定着しているイベントがあると思うが、来場者の推移や来場者の満足度をどのように捉えているか。
 - ⑤羽村の名所や特産品はどのようなものがあるのか。
 - ⑥市内の名所めぐりや食べ歩きをする場合のルートはどの位あり、マップ等は発行しているのか。
 - ⑦ホームページ（観光情報関係）のアクセス数は分析されているのか。
- (2) 今後の計画について
- ①第五次長期総合計画の中に、今後の方向性で「観光資源の発掘と活用」「新たな観光資源を活用した観光イベントの検討」とありますが進捗状況は。
 - ②行財政改革基本計画にある「羽村 PR 作戦の創設・展開」とあるが進捗状況は。
 - ③駅前に観光案内所の設置をする考えはないか。

12 月 5 日

1. 平成 25 年度予算について

(1) 全般的事項について

- ①国・都からの権限移譲や、国政の動向は、予算編成にどのように影響するか。
- ②「将来を見据えた重要な取り組み」として、5 点挙げているが、それぞれについて詳しく説明されたい。

(2) 歳入について

- ①市税収入の見込み額は、今年度と対比した比率は。
- ②「更なる歳入の確保」とは、こういったものを考えているのか。

(3) 歳出について

- ①経常的・定型的な事業のうち、扶助費は増加傾向にあるが、今後どのように推移していくものと見込んでいるか。
- ②財政援助団体等への指導監督はどのように行い、その成果は。

(4) 第五次長期総合計画の 2 年目だが、予算編成にあたっての市長の所感は。

2. 校庭等の芝生化について

(1) 松林小学校の校庭について

- ①児童は、どのように芝生の校庭を利用しているか。
- ②管理・運営している上での問題点はあるか。

(2) 芝生化について

- ①校庭等を芝生化する意義は。

12 月 5 日

11 人目

15 番

水 野 義 裕
(60 分)

②東京都は推進しているところだが、羽村市はどう考えているか。

3. 脱法ドラッグについて

(1) 脱法ドラッグについて

- ①インターネット等で簡単に入手できる環境にあるが、市はどう認識しているか。
- ②市内で、使用している事例はあるか。

(2) 市民への啓発について

- ①小中学生への啓発は、考えているか。
- ②国や都と連携した啓発活動が必要と思うが、いかがか。

1. 行財政改革実施計画について

(1) 数値目標について

できるだけ数値目標を記述するよう、以前から指摘し、検討するとのことだったが、この計画を見てみると、ほとんど数値目標が設定されていない。

- ①設定しない理由は。
 - ②記述されている成果目標で、達成度をどのような項目で評価するのか。
- (2) 取り組み項目によってできるものは、それぞれの終期を明示すべきではないか。

(3) 個別の項目について

- ①No. 10 テレビはむらの動画配信により、ケーブルテレビでの配信は停止するのか。
- ②No. 17 市有財産の処分による民間活力の活性化とは何をするのか。
- ③No. 23 保有する普通財産の評価額は、土地・建物それぞれいくらか。
- ④No. 29 専門的分野に特化した業務委託の再構築の結果、主体的で適正な評価ができなくなるおそれがあると考えるが、どのように対応するか。
- ⑤No. 36 電話交換業務は既実施されているが、市民からどのような声があるか。

2. 生涯学習実施計画などについて

(1) 稲作体験について

地区委員会によるものと、5年生を対象とするものがある。

- ①支援する農業者からは一本化してはとの声があると聞くが聞いているか。
- ②それについてどう考えているか。

(2) 放課後子ども教室について

- ①3つの教室の登録児童数、10月の設置日数と延べ出席児童数はどのようになっているか。
- ②それぞれの活動内容はどのようなものか。
- ③保護者・指導員・ボランティアなどから問題点の指摘はないか。あればそれにどう対応しているか。

12月6日

12 人目

17 番

門 間 淑 子
(60 分)

- (3) 地域人材の登用について
- ① 昨年度から整備が始まっているが、どこまで進んでいるか。
 - ② これまでの参加実態は。
 - ③ 市民の認知度が低いのではないかと感じるが、対策は。
- (4) 教員の研修について
- ① 宿泊研修について調査があったと聞くが、結果はどのようなものであったか。また、どのような意見があり、それにどのように対応したか。
 - ② 現場を持つ教員に対する集合研修の比率は、職層ごとにそれぞれどれくらいか。
(集合研修時間／全体研修時間)
 - ③ 計画には記述が見当たらないが、学級の経営に関する研修はどのように実施しているか。

12 月 6 日

1. 商工会への駐車場用土地貸し出しについて

- (1) 市の保有する土地（普通財産）の無償貸し出しでは、契約年数が 10 年、20 年、30 年と違いがあるが、年数ごとの基準は何か。
- (2) 契約内容について、見直しを検討したことはあるか。
- (3) 駐車場用に無償貸し出しをしているものは、商工会駐車場のみになっていて期間も長い。有料化や売却を考えてはどうか。

2. 動物公園通りの大型車両通行規制について

- (1) 動物公園通りの改修工事完了が近いが、全線の完了時期はいつか。
- (2) 交通量が増えているが、実際の数量として捉えているか。
- (3) 速度規制・車種制限について、東京都公安委員会に対し、どのような要望・協議を行ってきたか。要望や協議の日時・内容を質問する。
- (4) 東京都公安委員会からは、速度・車種変更などについて新たな方針など示されているか。
- (5) 規制の継続を望む住民の声を、東京都公安委員会に伝える必要があると考えるが、どうか。
- (6) 動物公園通り、武蔵野小学校前通りについては、定期的に交通量調査を実施すべきではないか。

3. 学校のトイレの洋式化を急げ

- (1) トイレの洋式化率は、現在、小中学校の平均でそれぞれ何%か。
- (2) 洋式化率の最も低い学校はどこで、何%か。
- (3) 最も高い学校はどこで、何%か。
- (4) 洋式化率はもっと高める必要があると思うが、どうか。

1. 横田基地の機能強化は市民とともにねかえそう

(1) 横田基地での訓練について

- ①最近、横田基地所属以外の米軍が訓練をおこなうことが増えているようだが、実態をどう把握しているか。
- ②特に、パラシュート訓練が連続して行われているが、実態をどう把握しているか。
- ③こうした訓練をおこなうことは、横田基地の明らかな機能強化であり認めることはできないと考えるが、市の見解を問う。

(2) 横田基地へのオスプレイの飛来、訓練について

- ①垂直離着陸輸送機オスプレイの飛来、訓練について、国や米軍にどのような申し入れをこの間おこなったか。
- ②それに対する回答などはなされたか。
- ③オスプレイの横田基地への飛来、訓練などについて、国などから情報提供はなされているか。

(3) 基地機能の強化、危険な飛行機の飛来などをなくしていくためには、市と市民が協力して声をあげていくことが必要だと考えるが、どう考えているか。具体的な行動はとられているか。

2. 市役所の電話、ホームページをもっと使いやすく

(1) 市役所の受付電話について

- ①システムが変更になったが、どのような理由か。
- ②新たにいくらお金がかかったか。節約できたお金はいくらか。
- ③システムが変更になった後、受付係が対応した電話の本数はどう変化したか。
- ④直通番号を使ってかけられた電話は何本だったか。
- ⑤防災無線の放送は何本かけられたか。
- ⑥市民がどこで内線番号を知って利用することを想定しているのか。
- ⑦電話は、受付係が対応することを基本とし、内線番号利用や防災無線の聞き直しは別の電話番号にするシステムにするべきと考えるがどうか。

(2) 市ホームページについて

- ①「市ホームページが使いにくい」との声を市民から聞くが、どう認識しているか。
- ②ページに並ぶ項目の並び順はどういう基準で決めているのか。
- ③情報をもっと構造化して分類することが必要だと感じるが、どうか。
- ④各課が担当のホームページを更新することに行っていると聞いているが、利用者に分かりやすいページ構成にするために、客観的に指摘をする役割は誰が担っているか。

14 人目

9 番

山 崎 陽 一
(60 分)

3. 2学期制についてさらに問う

(1) 授業時数について

- ① 「2学期制の検証と充実について」にあるように、純粹に2学期制にしたことによる授業時数の増加は年間何時間と考えられるか。
- ② 3学期制をとっている学校でも、始業式の後に授業をおこなったり、長期休業日を短縮したりして授業時数を確保する動きが進み、授業時数を確保するために2学期制にするという意味は薄れていると考えるが、どうか。

(2) 2学期制から3学期制に戻した自治体との比較について問う。

- ① 群馬県高崎市教育委員会は、2学期制を取りやめ、来年度から3学期制に戻す方針を決定した。その理由の一つとして、学期中の長期休業は区切りがはっきりしない、という意見が保護者、教職員ともに多いことがあげられている。羽村市でも共通した課題があると考えるが、どうか。
- ② 大阪府四條畷市では、平成21年度から3学期制へ全面復帰したが、その理由の一つは「10月の前期末試験が部活動の公式試合日程と重なり、テスト前の勉強が不安」との意見であったと報告されている。羽村市でも共通した課題があると考えるが、どうか。
- ③ 神奈川県横浜市では2学期制への移行をすすめていたが、3学期制にもどすことも学校毎に選択する方針となった。学校からは「2学期制において、長期休業が学期の途中に入るのは、多くの生徒にとって学びの中断になっている」との指摘がなされている。羽村市でも共通の課題があると考えるがどうか。

1. 区画整理撤回要求 第23弾

- (1) 第5次長期総合計画では西口土地区画整理事業開始後15年目の平成28年度まで進捗率10%とある。根拠は何か。
- (2) 仮に進めたとして、28年度の工事状況を聞く。33年度で事業完了するか。
- (3) 28年度までの年度ごと事業費、一般会計繰り出し額、補助・交付金額予定を。
- (4) 年度ごとの人件費、事務費、委託費、工事費を聞く。
- (5) 平成24～26年度までの事業計画を聞く。
- (6) 年度別の移転工事内容と補償金額、算出根拠を聞く。
- (7) 大橋付近でボーリング調査が行われた。目的と住民への説明はどうか。
- (8) 区画整理地区内で測量が行われている。目的と住民への説明はどうか。

12月6日

15 人目

11 番

馳 平 耕 三
(60 分)

- (9) 換地設計 (案) 意見書への回答に対して、何通の意見書が提出されたか。
- (10) 意見書検討状況と今後の予定を聞く。
- (11) 先行き不透明でリスクの大きい事業だ。市長の責任において課題を抽出、事業を見直すべきではないか。

2. 「事業仕分け」を仕分けする

- (1) 「事業仕分け」を始めた背景を聞く。
- (2) 目的はなにか。
- (3) これまでの評価員の数、選定方法
- (4) これまでの対象事業数、選定方法
- (5) 達成目標
- (6) 22 年、23 年の事業仕分け結果の市政への反映実績を聞く。
- (7) 事業仕分けに一般市民参加がない。理由と今後の検討状況を聞く。
- (8) 市事業の評価シート数、および公開されているか。
- (9) 行政評価と事業仕分けの整合性を聞く。

1. 選挙の投票率の向上を

- (1) 投票率が低かった、平成 21 年の市長選挙、平成 23 年の市議会議員選挙の 70 代の投票数は 20 代の投票数の何倍か。また、それぞれの投票率は何%か。
- (2) 投票率が下がり続けている原因はどこにあると考えているか。また、こうした原因を、若者を含む第三者を交えて分析する考えはないか。
- (3) 若者の投票率向上にむけて各自治体でも様々な取り組みが行われていて、横浜市では、「選挙フォーラム出前講座」を実施し、選管が小学校に出向き、子供のころから啓発活動を行っている。こうした取り組みを行う考えはないか。
- (4) イギリスでは、「シチズンシップエデュケーション」が導入され、日本でも注目を集めている。生涯学習の観点からも、こうした制度を先駆的に導入する考えはないか。
- (5) 富山県高岡市では、若者の投票率アップを考えるワークショップが開催されている。こうした取り組みを参考に、Web 上のコンテンツ作り、若者への啓発事業を行う考えはないか。
- (6) 今後の選挙に対して投票率向上のための目標数値はあるか。また、これまでと違う投票率向上の具体策を考えているか。

2. 心の病にどう対峙していくか

- (1) 羽村市職員について
 - ① 心の病による長期休業者は 10 年前と比較してどう増減したか。
 - ② 福祉の相談窓口に来る市民は 10 年前と比較してどう増えているか。また、福祉を担当する職員の数はどう推移しているか。

12 月 6 日

③この 10 年間で心の病で長期休業した年代別の割合は、それぞれ何%か。

④羽村市として、この期間、どう対応してきたか。

(2)学校の教職員・児童生徒について

①学校の教職員の心の病による長期休業者は、現在何人いるか。

②教職員のストレスのうち大きな原因になるものは何か。

③児童・生徒の心の病にはどう対応しているか。

(3)市民の心の病について

大阪市では、Web 上で、市民の心の病を取り上げ、心の病気は治るものとして、病院の紹介など行っている。また、市民公開講座等を開いて、予防啓発に努めている自治体も増えている。こうした心の病を身近なものとして市民に対処方法を情報発信できないか。

